

定例公安委員会の開催状況について

令和2年8月6日（木）に、第22回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 警察職員に対する懲戒処分について

警察職員に対する懲戒処分について報告があった。

委員のコメント

- 適切に処分されたと理解する。緊急署長会議も含めて再発防止のための措置も行われていると理解するのでしっかりお願いしたい。しかし、警察官採用試験を受ける際に大麻の事実を把握できなかったというのは良くない。採用試験のあり方を検討する必要があるのではないか。
- 規範意識が年代によって変化しているのかもしれないと思う。警察官というものがどういう職業なのか、その意味が浸透していない。若い人達の認識では、警察官は単なる職業の一つという捉え方をされていて、使命感が薄れているのではないかという懸念を抱いている。採用の段階で規範意識をどういう形で見ていくのか、心理学等の知見を利用して規範意識を見極めるための質問の出し方を検討することも必要かもしれない。また、入校してからどうやって規範意識を徹底させていくのかも考えてほしい。最近の若い人にはこちらの意図がなかなか入っていないと感じており、相手の考えを聞き出すことによって気付かせることも必要ではないか。世の中がどう変わろうとも警察官のあり方は変わらないのだから、その点を指導してほしい。

2 大麻乱用グループの検挙解体について

大麻乱用グループの検挙解体について報告があった。

委員のコメント

- メンバーの多くが高校時代から大麻を使用していた事件であり、この事件を素材として青少年育成の方面でも指導を行ってほしい。
- 警察官がメンバーに入っていたことは残念だが、全容解明は評価する。薬物事件は社会にとって極めて有害な事案であり、今回の事件も氷山の一角だと思うので、今後とも捜査を徹底してほしい。
- 地道な捜査により検挙したことは評価する。薬物乱用防止教室は随分前から学校で行ってきたが、当初その必要性をあまり実感できなかった。今は、薬物がインターネットを用いて簡単に手に入るようになっており、若年層へ薬物が入り込むことを阻止しなければならない。薬物乱用防止について、もっと啓蒙していかなければならないと思う。

3 空陸一体となった窃盗事件の検挙について

本年7月29日に発生した窃盗事件について、県警ヘリコプターを活用し空陸一体となった捜査により検挙した旨の報告があった。

委員のコメント

- 余罪があると思われるので捜査をしてほしい。暗い話題が多いので、こういった活躍についても広報して良いと思う。
- ヘリコプターを刑事事件でこれだけ活用した事件はそうないのではないか。情報通信部も一体となって対応した良い検挙であったと思う。ヘリコプターがいろいろな事件に活用できることを示す好事例である。
- 盗品をネットオークション等で簡単に売買できる時代になったと感じているが、検挙自体は評価すべきものであり、ヘリコプターを始め各部門が協力して検挙したことをアピールしてほしい。

4 庄内町役場旧庁舎における災害警備訓練の実施について

本年8月6日実施の、庄内町役場旧庁舎における災害警備訓練について報告があった。

委員のコメント

- 地震を想定しての訓練とのことだが、地震の場合は救助中にも余震があるかもしれないと困難な作業になる。つい先日の水害についても1か月、2か月前の訓練をいかせた部分があると思う。災害はいつ発生するかわからないので、こうした訓練は重要である。
- 建物を破壊する訓練は、こうした施設がなければできない。消防と共同作業を行う場合は、役割分担が極めて大事であり、指揮命令系統をどうするかも含めて訓練を行ってほしい。
- 消防と一緒に現場で活動することは多いと思うので、様々な形で共同訓練を行ってほしい。